

令和2年度 第3回志太榛原地域医療協議会・医療構想調整会議 会議録

日 時	令和3年2月26日（金）午後7時から8時まで																																																																							
場 所	Web（Zoom） 藤枝総合庁舎3階会議室																																																																							
出席者 職・氏名	<p><協議会及び調整会議 両委員></p> <table> <tr> <td>焼津市医師会長</td> <td>堀尾 恵三</td> </tr> <tr> <td>志太医師会長</td> <td>錦野 光浩</td> </tr> <tr> <td>島田市医師会長</td> <td>松永 和彦</td> </tr> <tr> <td>市立島田市民病院事業管理者</td> <td>青山 武</td> </tr> <tr> <td>焼津市立総合病院事業管理者</td> <td>関 常司</td> </tr> <tr> <td>藤枝市立総合病院長</td> <td>中村 利夫</td> </tr> <tr> <td>榛原総合病院長</td> <td>森田 信敏</td> </tr> <tr> <td>焼津市歯科医師会</td> <td>石田 睦人</td> </tr> <tr> <td>静岡県看護協会志太榛原地区支部長</td> <td>齊藤 博子</td> </tr> <tr> <td>中部保健所長</td> <td>岩間 真人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">〈協議会委員〉</td> </tr> <tr> <td>島田市長</td> <td>染谷 絹代</td> </tr> <tr> <td>焼津市長（代理：健康福祉部長）</td> <td>増田 浩之</td> </tr> <tr> <td>藤枝市長</td> <td>北村 正平</td> </tr> <tr> <td>牧之原市長</td> <td>杉本 基久雄</td> </tr> <tr> <td>吉田町長</td> <td>田村 典彦</td> </tr> <tr> <td>川根本町長</td> <td>鈴木 敏夫</td> </tr> <tr> <td>志太消防本部消防長</td> <td>松浦 一仁</td> </tr> <tr> <td>牧之原市地区長会会長</td> <td>種茂 和男</td> </tr> <tr> <td>島田市社会福祉協議会会長</td> <td>山城 厚生</td> </tr> <tr> <td colspan="2">〈調整会議委員〉</td> </tr> <tr> <td>藤枝薬剤師会長</td> <td>鈴木 正章</td> </tr> <tr> <td>岡本石井病院長</td> <td>平田 健雄</td> </tr> <tr> <td>藤枝駿府病院長</td> <td>田中 賢司</td> </tr> <tr> <td>全国健康保険協会静岡支部業務部長</td> <td>増田 邦子</td> </tr> <tr> <td>島田市健康福祉部長</td> <td>畑 活年</td> </tr> <tr> <td>焼津市健康福祉部長</td> <td>増田 浩之</td> </tr> <tr> <td>藤枝市健やか推進局長（代理：健康企画課長）</td> <td>岩本 豊</td> </tr> <tr> <td>牧之原市健康推進部長</td> <td>鈴木 郁美</td> </tr> <tr> <td>吉田町健康づくり課長</td> <td>増田 稔生子</td> </tr> <tr> <td>川根本町健康福祉課長</td> <td>鈴木 浩之</td> </tr> <tr> <td colspan="2">〈地域医療構想アドバイザー〉</td> </tr> <tr> <td>浜松医科大学特任教授</td> <td>小林 利彦</td> </tr> <tr> <td colspan="2">〈オブザーバー〉</td> </tr> <tr> <td>コミュニティーホスピタル甲賀病院長</td> <td>甲賀 啓介</td> </tr> </table>		焼津市医師会長	堀尾 恵三	志太医師会長	錦野 光浩	島田市医師会長	松永 和彦	市立島田市民病院事業管理者	青山 武	焼津市立総合病院事業管理者	関 常司	藤枝市立総合病院長	中村 利夫	榛原総合病院長	森田 信敏	焼津市歯科医師会	石田 睦人	静岡県看護協会志太榛原地区支部長	齊藤 博子	中部保健所長	岩間 真人	〈協議会委員〉		島田市長	染谷 絹代	焼津市長（代理：健康福祉部長）	増田 浩之	藤枝市長	北村 正平	牧之原市長	杉本 基久雄	吉田町長	田村 典彦	川根本町長	鈴木 敏夫	志太消防本部消防長	松浦 一仁	牧之原市地区長会会長	種茂 和男	島田市社会福祉協議会会長	山城 厚生	〈調整会議委員〉		藤枝薬剤師会長	鈴木 正章	岡本石井病院長	平田 健雄	藤枝駿府病院長	田中 賢司	全国健康保険協会静岡支部業務部長	増田 邦子	島田市健康福祉部長	畑 活年	焼津市健康福祉部長	増田 浩之	藤枝市健やか推進局長（代理：健康企画課長）	岩本 豊	牧之原市健康推進部長	鈴木 郁美	吉田町健康づくり課長	増田 稔生子	川根本町健康福祉課長	鈴木 浩之	〈地域医療構想アドバイザー〉		浜松医科大学特任教授	小林 利彦	〈オブザーバー〉		コミュニティーホスピタル甲賀病院長	甲賀 啓介
焼津市医師会長	堀尾 恵三																																																																							
志太医師会長	錦野 光浩																																																																							
島田市医師会長	松永 和彦																																																																							
市立島田市民病院事業管理者	青山 武																																																																							
焼津市立総合病院事業管理者	関 常司																																																																							
藤枝市立総合病院長	中村 利夫																																																																							
榛原総合病院長	森田 信敏																																																																							
焼津市歯科医師会	石田 睦人																																																																							
静岡県看護協会志太榛原地区支部長	齊藤 博子																																																																							
中部保健所長	岩間 真人																																																																							
〈協議会委員〉																																																																								
島田市長	染谷 絹代																																																																							
焼津市長（代理：健康福祉部長）	増田 浩之																																																																							
藤枝市長	北村 正平																																																																							
牧之原市長	杉本 基久雄																																																																							
吉田町長	田村 典彦																																																																							
川根本町長	鈴木 敏夫																																																																							
志太消防本部消防長	松浦 一仁																																																																							
牧之原市地区長会会長	種茂 和男																																																																							
島田市社会福祉協議会会長	山城 厚生																																																																							
〈調整会議委員〉																																																																								
藤枝薬剤師会長	鈴木 正章																																																																							
岡本石井病院長	平田 健雄																																																																							
藤枝駿府病院長	田中 賢司																																																																							
全国健康保険協会静岡支部業務部長	増田 邦子																																																																							
島田市健康福祉部長	畑 活年																																																																							
焼津市健康福祉部長	増田 浩之																																																																							
藤枝市健やか推進局長（代理：健康企画課長）	岩本 豊																																																																							
牧之原市健康推進部長	鈴木 郁美																																																																							
吉田町健康づくり課長	増田 稔生子																																																																							
川根本町健康福祉課長	鈴木 浩之																																																																							
〈地域医療構想アドバイザー〉																																																																								
浜松医科大学特任教授	小林 利彦																																																																							
〈オブザーバー〉																																																																								
コミュニティーホスピタル甲賀病院長	甲賀 啓介																																																																							

	焼津病院長 駿河西病院長代理 聖稜リハビリテーション病院長 藤枝平成記念病院 感染対策室長 誠和藤枝病院 事務長 はいなん吉田病院 事務長 <事務局> 静岡県中部保健所医療健康部長 // 中部保健所地域医療課長 // 地域医療課 主査 // 主任 // 主任	磯田 雄二郎 野坂 健次郎 横山 日出太郎 池ヶ谷 諭史 稲葉 正治 伊藤 和仁 足立 敬子 鈴木 宏幸 川田 祥乃 原田 政明 村田 昌也
議 題	共通議題 1 第8次静岡県保健医療計画（圏域版）の中間見直しについて 2 令和2年度病床機能再編支援事業費補助金の実施について (1) 市立島田市民病院 (2) 医療法人社団八洲会誠和藤枝病院 調整会議 報告事項 1 地域医療介護総合確保基金 2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえた医療提供体制の確保について	

司会から

今回は地域医療協議会と地域医療構想調整会議の合同開催であり、中部保健所長岩間委員が司会進行をすること説明。

出席者に地域医療構想アドバイザーとして浜松医科大学特任教授小林先生の出席、オブザーバーとして管内病院長等の出席を報告。

本会議は原則として公開であることを説明。

【あいさつ】

(岩間中部保健所長)

【岩間議長】

議長を務めさせていただきます。

最初に、地域医療協議会、地域医療構想調整会議の共通議題について実施する。

【共通議題1】第8次静岡県保健医療計画(圏域版)の中間見直しについて

事務局説明(川田):資料1を説明

(岩間議長)

ただいまの説明に意見質問はありませんか?

(特に意見なし)

議題1に了承として報告する。

【共通議題2】令和2年度病床機能再編支援事業費補助金の実施について

事務局説明（川田）：議題2参考資料を説明

資料の訂正：議題2資料2-1病床機能再編支援補助金 病床削減計画、(3)病床見直しの内容、削減病床数②の急性期の欄、12を24に訂正。

(岩間議長)

市立島田市民病院、誠和藤枝病院から病床削減の経緯等説明をお願いします。

(市立島田市民病院 青山委員)

資料2-2をご覧ください。(2)見直し前は許可病床数で、(3)病床見直しの内容は、平成30年度病床機能報告における稼働病床数を記載している。稼働病床数は478床、内訳は、急性期413床、回復期34床、慢性期31床である。新しい病院では、高度急性期として、ハイケアユニット6床を設置、回復期を34床から6床増やして40床とする。急性期は413床から24床減らして389床になる。慢性期31床の療養型病床は現在稼働していないため新病院では31床減らす。高度急性期6床、急性期389床、回復期40床、合わせて435床になる。この計画は、先ほど説明があったとおり、平成30年度の地域医療構想調整会議で了承をいただいている。具体的には、急性期病棟は10病棟から9病棟になり、慢性期の病棟を閉めるので、病院全体で2病棟減ることになる。

(誠和藤枝病院 稲葉事務長)

平素より地域医療機関の先生方から患者様の紹介、ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

概要といたしまして、平成30年度病床機能報告における稼働病床数は、228床を205床とし、23床の減少、減少率として10.09%の削減をする。療養病床228床は慢性期であり、科目は内科、リハビリテーション科となる。変更見直し時期については、令和3年3月1日を予定している。病床数の見直しの必要性については、志太榛原地域の療養病床数が2025年必要病床数と比較して200床上回っていること、病床機能報告の平成29年度1日平均入院患者数は、200.4床/日で228床に対して27.6床/日の空床、平成30年度1日平均入院患者数は、200.5床/日で228床に対して27.5床/日の空床、令和元年度は197.3床/日で228床に対して30.7床/日の空床であった。このことにより2025年の医療需要を見据えると、高齢者の入院需要は今がピークと考え、今後は横ばい、または下降をたどる可能性もある。近年の入院患者数及び療養病床の地域医療構想での必要数を鑑みると228床から23床を削減し、205床にしたいと思います

(藤枝市立総合病院 中村委員)

市立島田市民病院の説明、誠和藤枝病院の説明から地域の病床数の適正にという意味で縮小する趣旨はよくわかり、賛同する。

誠和藤枝病院に質問があります。介護医療院の必要性について言われているが、地域で支えていく中で注目されている。この地域で増えてきているが、西部に比べたら増えていない。誠和藤枝病院としてどのように考えるか？

(誠和藤枝病院 稲葉事務長)：医療病棟でやってきているため、介護保険に携わっていない。選択肢の一つではあったが、現状として23床の減少205床で運営をしていきたい。

(藤枝市立総合病院 中村委員)：ありがとうございました。誠和藤枝病院は、法人としていくつか病院を持っているのでグループの中で、介護医療院のあるべき姿など検討していただき圏域で発表していただきたいと思います。

(焼津市立総合病院 関委員)

特に異論はありません。

(榛原総合病院 森田委員)

異議ありません。

(島田市医師会 松永委員)

説明のとおり、進めてください

(焼津市医師会 堀尾委員)

島田市民病院の感染症病床はなくなるのか？

(市立島田市民病院 青山委員)：感染症病床は今回の削減対象となっていない。感染症病床は、見直し前の6床のままで結核病床は8床から4床に減らして継続する。

(焼津市医師会 堀尾委員)：それであれば安心しました。

(志太医師会 錦野委員)

問題ないと思います。

(岩間議長)

市立島田市民病院には、今回コロナで大変頑張っていたいただいている。地域として助かりました。

ほかに意見ありませんか？

(意見なし)

議題2について了承として報告する。

(岩間議長)

共通議題は終了となります。地域医療協議会委員の皆様につきましては、ここで、退出いただいても結構です。地域医療構想調整会議の報告事項に移ります。

【調整会議 報告事項1】地域医療介護総合確保基金について

(事務局 川田) 資料3を説明。

(岩間議長)

ただいまのご説明について、ご質問やご意見はありますか。

(とくになし)

(岩間議長)

今までの議題、報告について、浜松医科大学特任教授小林アドバイザー、総括お願いします。

(小林アドバイザー)

議題2について、2医療機関で54床の削減される。確かに地域医療構想という病床の削減をするイメージがあるが、病床削減の担保として、その病床を使っていた人が、在宅医療等で看られるということが必要である。中村委員もおっしゃっていたが、介護医療院の状況がどうなのか、老人保健施設はどうか、在宅医療を支える医師がいるか、等総合的に評価して54床がなくても、在宅医療難民がでないという考えでGOが出たのであれば問題はないと思われる。

国はベットをお金で買うという最後の手段に出てきている。今は補助金だが、国

会に出している法律、医療介護総合確保基金に減反政策のようなベットを買う事業が入ってくる。10/10 国が買うという形でベット削減を考えている。先ほどの市立島田市民病院のように新しく建て替える場合と既存病床を削減する場合とでは、イメージが違っている。次期保健医療計画では、新興感染症を災害扱いとし、6 事業目に入れる。6 事業目に新興感染症が入ることを想定し、パンデミックが発生したときにこの地域である程度隔離するスペースを用意できるかどうか、地域の課題となってくる。単純に病床を崩してしまうのか、部屋は別の用途に使用するが、いざという時は隔離スペースとして使用できるように残しておくか、歩きながら考えていく必要がある。国が示してくるとおりに従っていると、非常に大変な思いをすることになる。地域医療構想調整会議は、地域で情報共有しながら、変化が起こる状況に対して、調整していく場になればいいと考える。

(岩間議長)

他にいかがでしょうか？静岡県看護協会志太榛原地区支部長 齊藤委員、看護師を代表して意見があればお願いします。

(静岡県看護協会志太榛原地区支部長 齊藤委員)

特に意見はございません。

(岩間議長)

それでは、報告 2 に移ります。

【調整会議 報告事項 2】新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえた医療提供体制の確保について

(事務局 鈴木課長) 資料 4-1、4-3 を説明。

資料 4-1 について

中部保健所管内の新規感染者及び検査数について、令和 2 年 1 月から 10 月までは、非常に少ない件数で推移していたが 11 月に 82 件、12 月 145 件、令和 3 年 1 月に 141 件、2 月 18 日現在 46 件となっている。11 月以降は感染者数、検査数とも非常に伸びている。週別にみると、11 月 30 日から 12 月 6 日にひとつめのピーク、令和 3 年 1 月 4 日から 10 日に 2 つめのピークがあった。陽性者市町別マップは 2 月 18 日現在の感染者数を表し中部は 420 名の発生があった。

資料 4-3 について

静岡県健康福祉部長、静岡県病院協会長から各病院に発出された通知になる。

感染防止対策加算 1 の施設基準に適合している医療機関は市立島田市民病院、焼津市立総合病院、藤枝市立総合病院、榛原総合病院、甲賀病院となる。新たに発生した新型コロナウイルス患者を可能な限り受け入れていただきたい。

感染防止対策加算 2 の施設基準に適合している医療機関は岡本石井病院、聖稜リハビリテーション病院、藤枝平成記念病院となる。退院基準に該当し感染性がなくなった患者が新型コロナ感染症以外の病状により引き続き入院を要する場合は積極的に転院患者を受け入れていただけようをお願いしたい。

日本慢性期医療協会会員あて、該当する医療機関は駿河西病院、岡本石井病院、はいなん吉田病院、誠和藤枝病院となる。感染性がなくなった患者が新型コロナ感染症以外の病状のため引き続き入院を要する場合は、積極的に転院患者を受け入れていただきたい。

精神科病院は藤枝駿府病院、焼津病院となる。感染性がなくなった患者が新型コロナ感染症以外の病状のため引き続き入院を要する場合は、積極的に転院患者を受け入れていただきたい。

以上のような通知が出ているため、通知の趣旨を理解いただき、役割分担いただきますようお願いする。

(岩間議長)

ただいまのご説明について、ご質問やご意見はありますか。
患者の受入等現状について意見をお願いする。

(藤枝市立総合病院 中村委員)

コロナがはっきりわからない不安な時期は、退院基準を満たした患者の受け入れに消極的だったところもあると聞いているが、最近では感染対策も整ってきており、転院依頼すると受けていただける準備ができてきたと感じている。

(焼津市立総合病院 関委員)

藤枝市立総合病院で重症患者を診ていただきありがとうございます。焼津市立総合病院は落ち着いており、入院がない状況が続いている。今後も患者発生があると考え、気を緩めずに対応している。

(市立島田市民病院 青山委員)

第3波も落ち着き安心している。ワクチン接種が医療従事者にある程度できるようになって効果が出てくることを期待している。

(榛原総合病院 森田委員)

入院患者も減ってきている。転院先に困る状況でもない。

(岩間議長)

患者受入の院内の体制について意見をお願いする

(藤枝駿府病院 田中委員)

当院では、新型コロナ患者は出ていない。昨年秋以降、新型コロナ患者が増えたときは、神経を使った。感染対策を徹底した。精神科疾患の急性期患者、特に不穏の強い患者の場合、どこで何をしてきたのか、行動歴がわからないまま搬送されてくるので、コロナ疑いがある場合は隔離をして、検査結果が出るまで感染対策を実施していた。検査が外注のため、週末の入院の場合は月曜日に検体を出しても結果が火曜日までわからないために入院患者が重なると隔離病室の確保に大変な思いをした。検査結果が出る前に呼吸状態悪化した患者があったが、一般病院で診てもらうことができ非常に助かった。精神科と一般科との連携は非常に大切であると思う。現時点で、精神科入院中の患者がコロナになった場合、どこで治療を受けていくのか、明確になっていない。コロナの治療を受けている高齢者で認知症により指示に従えない、不穏が強くなってしまった場合、どこでどのように治療していくのか、明確でない。今後の課題であると県精神科の会議でも話し合いがあった。気が抜けない状況であるが、地域の医療機関と協力しながらやっていきたい。

(岩間議長)

オブザーバーで出席いただている先生方から意見を伺いたい。

(焼津病院 磯田院長)

藤枝駿府と同じように、患者が新型コロナウイルスに感染している可能性がある

ことを想定し、保護室1床を隔離する病床としてきた。現在までコロナウイルスが院内に侵入することを防ぐことができている。近隣の甲賀病院、焼津市立総合病院には、非常にお世話になっている。感染が心配な患者を診ていただき助かっている。精神科だけで何かできるわけではないので、精神的な診察を引き受け、身体は一般科で診ていただく形しかないと思っている。

(甲賀病院 甲賀院長)

検査を中心に貢献していこうと考えている。院内PCRを設置し、24時間で検査をしている。第3波は収まりつつあるが、次の余波は、どのように貢献していくのかということについては、後方支援を担っていければと考えている。

(駿河西病院 野坂院長代理)

厚生労働省の通知のとおり、退院基準に従い感染をさせない患者を受け入れる体制を作っている。高齢者、認知症の多い病院なので、院内でクラスターが発生した場合は、院内だけでは対応しきれない。このような場合は、急性期病院の先生方に治療をお願いしたい。よろしくお願いします。

(聖稜リハビリテーション病院 横山院長)

回復期という立場で、感染性がないという条件で、転院患者を受け入れている。どういう状況であれば受け入れられるかと、2、3か月前に院内で議論をした。1例、2例と受け入れている。検査体制では、当初からPCRを積極的に実施し、院内の蔓延を防ぐことに努めている。院内で発生した場合には、急性期病院の先生方をお願いするしかないと考えている。

(藤枝平成記念病院 池ヶ谷医師)

検査は徐々に拡大し、体制を整えている。回復期の入院の受け入れについては、病院長と相談して考えていきたい。

(誠和藤枝病院 稲葉事務長)

現時点で院内でのコロナの発生はない。院内で発生した場合には、急性期病院の先生方に治療をお願いするしかないと思っている。面会を止め、患者家族も洗濯の入れ替えだけとして、病棟前で看護師と受け渡しをする体制とし、感染拡大しない対策をしている。

(はいなん吉田病院 伊藤事務長)

現時点で院内のコロナ患者の発生はない。同法人の誠和藤枝病院と同じ体制をとっている。洗濯の交換以外は、看取り間際の患者以外の面会を規制している。療養型病床のため発生した場合は、急性期病院の先生方をお願いしたいと思っている。

(岡本石井病院 平田院長)

当病院においては、コロナから回復した患者は積極的に受け入れる方針でいる。新型コロナウイルス患者の診断については発熱外来を設置し、午前午後で対応している。検査の方法は、抗原検査、PCR検査を実施している。急ぐ場合には、核酸増幅法を導入し、迅速な診断に努めている。入院する患者対応として、迅速に対応している。

(岩間議長)

他にご意見、質問があればお願いします。

(島田市社会福祉協議会会長 山城委員 (協議会))

福祉関係では、資金の貸し付けなど相談がある。私自身、メンタルヘルスにかかわってきた一人として、精神症状のある方が感染したときの大変さが課題であると思っている。今年は自死（自殺）が多くなってきている。コロナと関係しているのか、コロナノイローゼ（コロナ）神経症、コロナうつなど、県内ではどのような状況なのか、情報があれば伺いたい。

（岩間議長）

新聞やテレビなど報道で言われている。地域で偏見、誹謗中傷をなくし、身体と精神とで乗り切っていきたいと思う。地域で協力していかないと、身体、精神だけでなく経済的な問題もあり、大きな社会問題となっているので、みんなで乗り切っていきたいと思っている。

今日の予定している報告、意見交換が終了となる。地域で連携を取りながらやっていきたいと考えている。第3波も下火になってきたが、静岡市や浜松市の医療機関でクラスターが発生しているので、油断できる状況ではない。心を引き締めて対策をしていただきたい。

発言のある方は、どうぞ発言してください。

（意見なし）

それでは、事務局に返します。

【事務局（鈴木課長）】

短い時間ではありましたが、有意義な意見交換をありがとうございました。委員の皆様にはご協力をいただきましてありがとうございました。

以上をもちまして、令和2年度第3回志太榛原地域医療協議会及び医療構想調整会議を終了します。本日は、誠にありがとうございました。

（終了）